



鈴鹿市議会だより

■発行/鈴鹿市議会 ■編集/鈴鹿市議会広報広聴委員会

三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号 TEL.059-382-7600 <http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai>



山開き(H20.7.1)
小岐須溪谷



海開き(H20.7.4)
千代崎海岸

6月定例会のあらまし

6月定例会は、6月3日から24日までの22日間の日程で開催されました。本定例会では、平成20年度鈴鹿市手数料条例の一部改正についてなど議案9件が市長から提出され、議案質疑、各委員会での審査の後、討論及び、採決の結果それぞれ原案のとおり可決されました。また議員提案による、「民法第772号の嫡出推定に関する運用の見直しを求める意見書」の発議案が24日の本会議で提出され、原案のとおり可決されました。尚、意見書については関係機関へ送付し、その実現について要望しました。

(議決一覧については10ページに記載)

主な内容

- 一般質問……………2～ 9P
- 議会の動き……………9～10P
- 6月定例会議決一覧……………10P

議員からの寄付は禁止されています

議員(候補者を含む)が、親睦旅行会・会合・お祭り・運動会等の行事に、寄付や差し入れなどをしたり、祝い金(出産・新築等)や贈り物をする事は、公職選挙法等により罰則をもって禁止されています。また、要求した人や受け取った人も同様に罰せられます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



市政研究会 水谷 進 議員

文化財について

- ①神戸城の整備について
- ②古文書の収集と公開について

質問①(1) 神戸城跡を公園部分と一体的に整備をするべきと思うがどうか。

答弁①(1) 史跡部分を含め、公園部分と一体化した整備を検討する時期に来ていると考えている。

質問①(2) 神戸城の改修の予定はあるのか。

答弁①(2) 地元や県、市の関係機関と協議をしながら緊急課題と長期的展望に立った改修整備を進めていく。

質問①(3) 鈴鹿市の歴史観光施設として積極的にPRすべきと思うがどうか。

答弁①(3) 神戸城を核とした神戸の町並みや参宮道を物語ルートとした企画など積極的にPRしていく。

質問②(1) 収集についての考え方と状況はどうか。

答弁②(1) 貴重な資料を寄付戴けるよう「広報すずか」などを通じて情報をお願いしている。現在、西館の郷土資料室には約2万点の資料を所蔵している。

質問②(2) 公開はどのような方法を考えているのか。

答弁②(2) 郷土資料室での閲覧の他、本年度は考古博物館の特別展示室で新収藏品展を計画している。

質問②(3) 鈴鹿市歴史資料館の建設を考えるとどうか。

答弁②(3) 現在、考古博物館や各資料館のネットワーク化や所蔵資料の目録化に努力しているところであり、現時点では新歴史資料館の建設は計画にない。



あくていぶ21 伊藤 健司 議員

- ①安全安心な学校給食について
- ②療育手帳取得の重要性について
- ③視覚障がい者福祉サービスについて

質問① 本年度9月完成の学校給食センターの管理運営方法と食材購入・業者選定・検査機能について。

答弁① 11校8園分約6千食の調理能力をもち、ドライシステム方式による衛生管理。品質保証を表すJAS企画を基本とした食材選定。鈴鹿市学校給食協会の専門委員会での献立を検討決定し、共同購入業者選定および共同購入食材選定等を行なう。検査機能は保健所との連携に加えて他市の状況を参考にしながら安全な食材確保のための業者指導をする。

質問② 軽度の知的障がいがある方を福祉支援につなげるための療育手帳取得を促す大切さについて。

答弁② 療育手帳の取得は、福祉サービスを利用するために必要なものとされているので、福祉事務所のみならず関係機関と連携し、手帳申請手続きや案内等、手帳取得につながるよう支援を行っていく。

質問③ 盲老人ホーム建設計画はあるのか。また現在ある介護サービス内容で視覚障がいへの配慮は。

答弁③ 県内に盲老人ホームは1ヶ所あるが、本市での建設計画はない。しかし視覚障がい者が安心して介護サービスを受けることができるよう、サービス事業所では細やかな配慮を心がけるよう努めていく。



すずか倶楽部 中西 大輔 議員

NTT跡地と周辺地域の活性化について

質問(1) NTT研修センタ跡地を中心とした地域に、どのような現状認識をもっているか。

答弁(1) 産学官民交流ゾーンとして、都市マスタープランで位置づけている。

質問(2) 旭ヶ丘小学校に隣接するゾーンについて、高層マンション的な建築も可能か。

答弁(2) 可能である。

質問(3) 防災型広場と新産業支援ゾーンの進捗状況、市民活動拠点施設としてはどうか。

答弁(3) 前者は野球場としての活用も視野に、市直轄もしくはURの整備メニューを用いるかを、整理しながら決定。後者はものづくり支援センターとして検討中。市民活動拠点は現在視野に入っていない。

質問(4) 防災型広場と新産業支援ゾーンについて、白江土地区画整理事業保留地と土地交換し取得してはどうか。そこに、計画されている施設を公民館の機能をあわせ建設し、学校隣接の複合的な施設としてはどうか。その際、現在の旭ヶ丘公民館は、市民サービスの窓口と、地域高齢者の福祉対策拠点にしてはどうか。

答弁(4) そのようなことは検討していない。

質問(5) 計画の再評価と再検討はあるか？

答弁(5) 考えはない。

※UR=独立行政法人都市再生機構

あくていぶ21 森田 治巳 議員



鈴鹿市の安全安心対策について

質問 市の公共施設全般における耐震化の現状と今後の対策はどうなっているのか。公立の小中学校や幼稚園の耐震化は、どこまで進められているのか。保育所や公民館の耐震化の現状と対策は。

答弁 平成19年度末で、市が設置した公共施設の耐震化率は91.3%で、全国的にも非常に高い水準にある。本年3月には鈴鹿市耐震改修促進計画を策定し、市内建築物の耐震化に関する目標を定め、計画的に耐震化を図っていくこととした。この計画に基き、対象施設に

対して100%の耐震化をめざし、取り組む。耐震化率は、小学校校舎30校が100%で、小学校の屋内運動場は93.3%、中学校の校舎は、96.3%で、中学校の屋内運動場は90.9%である。幼稚園については、100%である。公立保育所10園中、牧田と神戸は耐震に関する建築基準を満たしており、8園のうち5園は、耐震補強工事を実施し、河曲・算所・玉垣の3園は、建て替えで対応することとした。公民館30館とふれあいセンター1館中、旧耐震基準で建築されたのが16館あり、建て替え計画のあった玉垣・稲生を除く14館のうち耐震補強が必要とされた石薬師・若松・神戸・合川・久間田については、計画的に工事を実施している。なお、玉垣公民館は建替えを終え、稲生・若松公民館は新築移転事業に着手している。

緑風会 小島 巧也 議員



有害サイトから子供をどう守るのか

質問 出会い系サイトや学校裏サイトなど多くの有害サイトが存在し、問題が発生している。鈴鹿市の現状はどうか。家庭と教師が実態を把握し、指導すべきと考えるが、今後どのような対応をとるのか。

答弁 ネットを介した子供たちの問題行動件数は、年々増加傾向にあり、おもな内容は、「悪口の書き込み、いやがらせメール」や「ネットゲームからのトラブル」など平成19年は、11件の報告を受けた。「学校裏サイト」については、匿名であることやアドレスが複雑であるた

め、実態は把握できていない。対応として、鈴鹿市青少年対策推進本部ではこれまでに、有害サイトへの接続の危険性についてのリーフレットを作成し、児童生徒や保護者に配布するなど、未然防止に向けて指導を行ってきた。今後は、最新情報を得て、学校と家庭の連携を一層強化していきたい。また、本年度中に子供たちの発達段階に応じた、安全教育カリキュラムを作成し指導を進めていく。



政友会 大杉 吉包 議員



- ①食と農について
- ②土地区画整理事業について
- ③公共下水について

質問①(1) 本市の食と農に対する取組みと対策は。

答弁①(1) 安全安心な農産物を求める市民ニーズに対応するため生産履歴記帳などによる安心な農産物の生産振興や直売所等を活用した地産地消の一層の推進に取組みたい。

質問①(2) 学校給食の安全対策と地産地消の実態は。

答弁①(2) 国内産をできる限り使用し残留農薬の検査については自主検査証明書を求め確認している。又、鈴鹿市産の利用率は野菜が11.5%、米が72%になっ

ている。

質問② 市街化調整区域での事業実施は可能か。

答弁② 市街化調整区域内における新たな市街地形成としては工業団地などの工業系の土地利用は可能でありその事業手法のひとつとして土地区画整理事業がある。

質問③ 公共下水の進捗状況と今後の計画について。

答弁③ 使用開始から約10年が経過し整備済面積は1,499ヘクタールで計画面積の31.9%である。今後の計画としては人口密度が高く事業の投資効果が表れやすい市街化区域内を優先しその後市街化調整区域にとりかかっていきたい。

あくていぶ21 森 喜代造 議員



- ①F1地域おこしについて
- ②民生委員児童委員について
- ③ラジオ体操について

質問① 地域活性や協力体制はどのように考えているか。又稲生駅までの歩道拡幅はしていくのか。

答弁① 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会を立ち上げ、30団体の事業者が参加した。3つの部会で協議、検討を重ねる。又、市道加佐登鼓ヶ浦線南側歩道を5.5mに計画している。完成は平成23年の予定である。

質問② 活動状況と民生委員の欠員及び選定基準はどのようにしているのか。事故等の対策は万全か。

答弁② 社会奉仕の精神をもって職務に携わっている。

欠員は4か所の区域に4名の欠員が生じていることから近隣区域の委員の方に協力をお願いしている。又、活動中の事故等は県の条例による保障や、任意加入のボランティア保険等に対応する。

質問③ ラジオ体操の普及促進について小学校で指導しているのか。又夏休みに地域でラジオ体操を実施しているのを学校は把握しているのか。今後のあり方について。

答弁③ 小学校30校中12校が授業で指導している。準備運動としストレッチ運動などを取り入れている。夏休みのラジオ体操は地域や子ども会が実施していることから学校では把握していない。ラジオ体操は子どもたちの生活習慣の向上や地域づくりにもつながることから普及促進に努めたい。

市政研究会 中村 浩 議員



- ①鈴鹿市の都市計画税について
- ②市長への提言について

質問① 家が建たない土地であれば、都市計画税の減税や税金の還付期間である、5年前にさかのぼり、都市計画税を返すべきでは。本市では、0.2%の課税であるが、市民負担を少なくする為、0.15%にならないか。将来人口を、市民が夢と希望を持てる「30万人構想」と掲げては。

答弁① 家が建たないことを理由に都市計画税を減税することや、すでに納められた税を還付することは、地方税法の趣旨からできないものとする。事業推進

には、引き続き、0.2%の税率で負担をお願いしたい。最近の人口の伸びを考えると30万人規模になることは考えにくく、県の予測でも、平成30年をピークに、その後は緩やかに減少するものと予測されている。

質問② 今年1月に提言した内容の今年度予算に反映した中で、C-バスの項目でその他地域の公共交通の検討について具体的にどうするのか。

答弁② 本市の公共交通網を全市的な視点から検討をすすめて行く必要がある。市内地域の人口構成や施設の配置、移動実態など状況を把握し、問題の整理を行って、国の制度を利用できるよう、関係規定の整備に取り組んでいきたい。

すずか倶楽部 原田 勝二 議員



- 安全で安心なまちづくり
—集落間(なわて道)
通学路防犯灯設置について—

質問(1) 平成16年に教育委員会・学校教育課に依頼した防犯灯の必要設置数の調査では、防犯灯は1,178灯・必要な電源は209とのことであったが集落間の問題もあり設置が進んでいない。その必要性をどのように考えているのか。

答弁(1) 必要性は十分認識しており、設置を促進する方向で、補助要綱の見直しを早期に検討する。

質問(2) 平成16年度から4年間の予算・設置実績・決算を問う。

答弁(2) 平成16年度から平成19年度までの予算額は320万円。決算額は118万円です。8つの中学校区で57灯を設置した。

質問(3) 1,178灯、電源209灯、設置費用の概算見積もりを問う。

答弁(3) 設置費は約3,300万円、電気代は約240万円。

質問(4) 子供達の安全確保のため現在の補助要綱を早急に見直し全額市費で負担できないか問う。

答弁(4) 現在の補助要綱を早急に見直し、1,178灯の設置の方針で、きちんと対応する。





緑風会 藪田 啓介 議員

鈴鹿市における文教地区構想

質問(1) NTT西日本鈴鹿研修センタ跡地に中学校、高校を移設誘致し地域を当市の文化・教育の発信地として再構築してはどうか。また、メディカルバレー構想と健康福祉ゾーンの推進についての考え方はどうか。

答弁(1) NTT西日本の土地利用計画案では、薬学部南側についてNTT跡地土地利用転換計画の「健康・福祉の生活現場」にもとづき引き続きニーズ調査を進めていくとしている。中学校の移設は学校区の調整などさまざまな問題があり現状では考えにくい状況である。健康福祉ゾーンについては、鈴鹿地域メディカルバレー連絡調整会議にワ

ーキング会議を設置し土地活用について検討を行うなど協力を行っている。

質問(2) 白江土地区画整理事業と土地利用計画案との相乗効果と関連性はどうか。

答弁(2) 白江土地区画整理事業とNTT土地利用転換計画とは性格の異なった事業であるが、防災型広場ゾーン、健康づくりのリハビリテーション施設、介護医療施設などの施設整備が見込まれることから、相乗効果については十分期待している。

質問(3) 防災型広場ゾーンの価値と整備実施の優先順位と費用対効果はどうか。

答弁(3) 国でも既成市街地における防災公園の整備推進が重点事業とされており、桜並木の保全や費用対効果等を検討して早急に整備計画を決定してゆく。



無所属クラブ 板倉 操 議員

- 市民の命は大切にされているか
- ① 国保資格証明書交付について
 - ② 困っている人を助けているか

質問① 国民健康保険料を1年以上滞納すると、保険証を取り上げられ資格証が交付される。医者にかかる窓口で10割取られるので、病院に行けない事になる。県下14市中取り上げ率が1番なのが鈴鹿市である。他市では様々工夫して困る人を救う制度が考えられている。滞納の理由を調べ温かい対応が必要だと思うがどうか。

答弁① 資格証交付率は県下1番ではあるが交付にいたるまでには何度も被保険者証の返還に係る内容と共に、保険税の納付・相談に来ていただく期限を設定

した案内の文書を発送し、相談頂いた状況に応じてそれが特別の事情に該当する場合は短期証を交付している。

質問② 乳幼児世帯、障がい者世帯、高齢者世帯については特に配慮して、保険証を取り上げる事がないような施策が必要だと考える。公的な助成が受けられない結果にも繋がってしまうのではないか。

答弁② 高齢者や公費負担医療費制度等の助成を受けている方には特別な事情等がある方として、資格証の対象者から除外している。資格証の交付については、資格証の交付要件に該当した場合であっても、できる限り個別に抱える状況などの把握に努めている。



市政研究会 大西 克美 議員

F1再開の事業整備について

質問 2009年F1再開に向けて、市は何を取り組むのか。ハード面、ソフト面での事業は。ホンダが鈴鹿に企業進出して50周年になる2010年にコレクションホールを設置させるなどの計画はないのか。

答弁 ハード面の対策として早急にサーキット道路の拡幅整備(サーキットから稲生駅間の4車線化及び同区間での北側歩道2.5m、南側歩道5.5m)を行い、車両の渋滞緩和と歩行者の安全を確保してまいりたい。ソフト面での事業としては5月30日に公共交通機関などの関係

団体や近隣市町等で「鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会」が設立され、本市だけでなく、国及び三重県の関係機関、周辺市町、公共事業者等、30団体が一緒になって観戦客を広域的にお迎えすることができるよう、取り組んでまいりたい。また、F1開催時において観戦客に対する「おもてなし」の意味も含めて、どのようなイベントが開催できるかなど鈴鹿サーキットと協議を進めているところである。



無所属クラブ 杉本 信之 議員



- ①環境ISO14001の変更について
- ②バイオマスタウンについて
- ③学校給食の食材について

質問① 今までの取り組みの成果は。今後予定する鈴鹿市独自のものはどんなものか、環境施策の後退にならないか。又、エコタウン事業はどうなるのか。

答弁① 職員に環境に対する一定の力量もつき、推進体制が出来た。今後は全職場において簡素で事務量やコストを低減でき、各所属が自己管理の下説明責任が果たせる充実したシステムにしていく。エコタウン事業については本田技研工業(株)鈴鹿製作所が塗装汚泥等を堆肥化しサツキ等の肥料にする予定だったが、塗料に含まれるメラミン樹脂が肥料の品質が低下する

ような異物にあたると農林水産省から連絡があり中止している。今後については国・県と協議していく。

質問② 現状と今後の取り組みはどうか。

答弁② 今年、食品や家畜廃棄物・稲藁などの生物資源がどれくらいあるのかを調べ、その後どの様なものにするかを関係者と協議していく。

質問③ 14,000食を同一献立で同一食材にするので地元産が利用しにくくなる。単独調理校において栄養士の裁量で食材の変更ができれば、地域の野菜を利用した給食にすることが出来るかどうか。給食費は値上げするのか。ご飯の回数を増やせないか。

答弁③ 出来るだけ地元のものを利用するようにしている。契約栽培やご飯の回数は検討する。

あくていぶ21 矢野 仁志 議員



- ①二次救急医療の本市の係わりについて
- ②過労死について
- ③子供達のメタボ対策

質問① MRIに対する1億円の補助金の詳細は。地域医療支援病院の機能は守られているか。救急対応医療機関のERドクターの確保の考えはないか。

答弁① 中央病院に対し、約3億円の事業費の3分の1相当を補助する予定である。地域医療支援病院は、開業医と連携をとり地域医療に寄与するもので、中央病院を中心として十分にその機能は果たしていると考えている。救急医療は財政的な支援だけでなく、市全体で積極的に取り組みたい。

質問② 対策は。月80時間を超えた職員に産業医による面接指導は。対象職員数は。市の現状は。

答弁② 対象職員数は実人数で92名おり、そのうち本人の申し出により面接指導を受けたのは9名であった。業務量が増加している部門に増員を行い、職員の健康管理については、産業医や各所属長との連携を深めていきたい。

質問③ 本市の取り組みは。

答弁③ 国の基準に基づく計算で、肥満傾向にあると判断した子どもに対する適切な生活改善指導や、保護者への周知と協力を努めている。他市の先進的な取組などを今後の対策に活かしていきたい。

公明党 池上 茂樹 議員



- ①消防団支援について
- ②F1再開に向けての道路整備について

質問①(1) 消防団員が年々減少傾向にあるが、消防団員の拡大に向けての、本市の取り組みと現状は。

答弁①(1) 定数455人に対して443人で、消防団員の平均年齢は、41.3歳・65歳以上の消防団員は5人。「制服・活動服等の一新」「健康診断の実施」「企業等への協力依頼」「消防団長の事業所訪問」など改善を行いながら消防団の処遇改善に努めている。

質問①(2) 「消防団協力事業所表示証」は、サラリーマン団員の活動を理解し、支援する事業所の証である。認定状

況と拡大に向けた取り組みは。

答弁①(2) 全国では731事業所で鈴鹿市は17事業所。今後も消防団から事業所にアプローチし一層の協力を求めていき、消防団員が活動しやすい環境づくりを進める。

質問①(3) 消防車庫・待機所の建て替え時の補助金900万円が制定され、12年が経つが補助金の見直しは。

答弁①(3) 今後の社会経済情勢と建築指数の上昇動向の推移を見極めながら検討していく。

質問② 県道稲生山線は、道路幅員が狭く自転車、歩行者が安心して通行できない。道路整備・歩道整備の本市の取り組みは。

答弁② 2009年のF1再開に向けて「環境整備部会」の中で、協議、検討して三重県に対し早期の道路整備をお願いする。

公明党 森しず子 議員



- ①発達障害児の子供への支援について
- ②学校教育における読書活動について
- ③鳥獣対策について

質問① 19年度スタートした特別支援教育の現状は、就学前の保育所・幼稚園の取り組みは。

答弁① 通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒数は580名で、取組については、各学校で校内委員会を組織し、コーディネーターを中心に、個別の指導計画を作成し一貫した指導に努めている。昨年度は、あすなろ学園から職員研修に講師を派遣をして頂き、発達障がい児の継続的支援の重要性について認識を深めた。今年度は発達障がい児の早期発見・早期支援のため、職員を子育て支援課などに配置し、幼稚園と保育

所へ、あすなろ学園・教育研究所員・健康づくり課職員などが一緒に巡回相談を実施し、教職員などのスキルアップを図りたい。部局をこえて取り組んでいきたい。

質問② 現状や今後の取り組みは。

答弁② 各学校で、子どもたちが興味をもてるよう展示などを工夫し、朝の10分間読書や「読み聞かせ」「ブックトーク」「親子読書」図書館まつりなど様々な活動に取り組んでいる。今後は、学校図書館巡回指導事業の充実と地域に開かれた学校図書館運営のためのシステムづくりを行っていきたい。

質問③ 市内でサル等の鳥獣による農作物被害が多発しており、*モンキードッグを導入しては。

答弁③ 早い時期に対応策を検討したい。

*モンキードッグ=野生のサルによる農作物の被害をくいとめるため訓練された犬

日本共産党 森川ヤスエ



- ①市営住宅入居待ち改善策について
- ②高齢者の健診について

質問① 高齢者・母子家庭等経済的困難な世帯には市場家賃は収入の30%を超える事が多く、生活を直接圧迫するので、入居申し込みから半年以内の入居保障のため、住宅の増設、民間借上げ、家賃補助などの対策を求める。

答弁① 公営住宅法施行令の改正で、来年度から入居収入基準が月収20万円から15万8千円に改定されることから、入居対象者の待ち期間は短くなると思われる。社会的経済的弱者の早期入居促進のための対策は、

順番待ちの空き家紹介についての改善策や抽選会の回数を増やす等を実施している。また本市の将来的な住宅施策のありかたや「鈴鹿市版住生活基本計画」について検討している。

質問② 75歳以上の高齢者にも人間ドック検診などを実施することを求める。

答弁② 75歳以上の方については、三重県後期高齢者医療広域連合で「長寿医療健康診査」が実施される。75歳以上の人間ドック・脳ドックを本市独自での実施については、長寿医療健康診査が4月からスタートしたところであるので、その実施状況を見守りながら、他の健診状況等も考慮し、仕訳・検証し研究したい。

日本共産党 石田 秀三 議員



- ①「人権意識調査」報告書について
- ②鈴鹿のお茶の振興について

質問① 本年2月に鈴鹿市が出した「人権問題に関する意識調査」報告書は、その内容は半分が同和問題に関するもので偏りがある。また結果の分析も、数値の下がったものを「部落問題が潜在化、陰湿化の方向に変化」とか「一概に改善したとは考えられない」などとねじ曲げている。さらに市民の率直な意見を勝手に「前向き・後向き」と分類し、「同和問題は差別する人が存在し、温存する立場にある人々が存在し続けることにより、なくならない」と決めつけている。

このような特異な理論を掲げた報告書は、鈴鹿市の公文書としては認められない。

答弁① この調査は自由記述を含めた人権問題全般における市民意識の動向について調査する目的で質問項目を選んでおり、調査結果を真摯に受け止め、今後の人権啓発事業を推進したい。

質問② 鈴鹿市はお茶の有数な産地であり、どこよりも産業として、また食文化としてお茶を大切にしたい。特に一生の味覚や習慣を身につける子供時代に、家庭と学校でお茶に親しむ工夫をされたい。

答弁② 小学校や公民館等で「お茶のお話し会」を開催したり、啓発活動に努めている。家庭や地域と協力しながらお茶に親しむ機会を増やして参りたい。

市政研究会 市川 哲夫 議員



- ① 鈴鹿の海の安全について問う
- ② 語り部ガイドについて

質問① 伊勢湾の沿岸では漁師さんの働く場、あるいは市民が楽しむ浜辺があるが安全性についてどのように対応しているのか。又、湾内を航行する船舶の安全に対する規制はどのようになされているか。

答弁① 海水浴シーズンには四日市海上保安部等の関係機関により、海上安全パトロール、事故防止啓発パンフの配布、現場指導などを実施し、水上バイク等の海難事故の防止と航行の安全確保に努めていただいている。又、伊勢湾を航行する船舶の安全確保につい

ては四日市海上保安部が漁船の海難事故の対策として、「厳重な見張り」「早期の注意喚起」「ライフジャケットの着用」等の指導を行っている。市としても漁協の安全啓蒙活動を支援し、協力して事故防止に努めていく。

質問② 語り部ガイドを通して本市の歴史、文化をシティセールスにと思うが今の活動内容とこれからの取り組みについてお伺いしたい。

答弁② 平成13年度「東海道石薬師・庄野語り部の会」として発足し地域に住む次世代の子供達に伝えていくことを目的として活動。今後も鈴鹿市観光協会と連携し地域の歴史遺産をより活用するとともに学習できるシステムづくりを目指し育成を図りたい。

新政会 大谷 徹 議員



- ① 地場産業である建設業の振興
- ② 入札契約制度のあり方について

質問① 経済情勢が厳しい中、市内の建設業の現状を市はどのようにとらえ、どのような対応を考えているのか。

答弁① 本市としては、建設産業の健全な発展と、地域経済の活性化のため、市内業者の育成に配慮し、中小建設業者の受注機会の確保に努め、適切な施工体制の確保や市場における競争の範囲内での可能な限りの分離・分割発注に努めている。

質問② 総合評価落札方式を導入した背景と目的は。

また同方式による試行と一般競争入札を比較してどのような成果と結果を得られたか。

答弁② 昨年より内部で検討を開始し、県の指導を受け具体的な審査方法などを行い、10月から試行に至った。「三重県総合評価審査委員会」に諮り、総合評価落札方式の透明性、公平性を図っている。試行は、設計金額3,000万円以上の土木工事が対象で、本年度14件あった。平均応札業者数は7.8社、平均落札率は64%、最も安い価格を提示した業者が落札者とならない逆転現象は2件あり、平均落札率に関しては、昨年度の一般競争入札の平均落札率と比較して10ポイント程度低くなっている。引き続き検証していきたい。

すずか倶楽部 後藤 光雄 議員



- ① 鈴鹿市のノーマライゼーション
 - (1) LED式信号等について
 - (2) バリアフリー生活館を鈴鹿市にも
- ② 子ども達の居場所づくりについて

質問①(1) 色弱の方が識別しにくいLED(発光ダイオード)信号の市内交換率と市への苦情等の有無は。又カラーユニバーサルデザインの考え方で色弱者のバリアフリー化を考えられないか。

答弁①(1) 省エネで寿命の長いLED式信号化率は車両用灯器で22%歩行者用灯器35%。視認性に関する意見等は、鈴鹿警察署、市へも寄せられていない。鈴鹿警察や三重県へ要望を伝えていく。

質問①(2) 加齢や障害等で不自由になった方の在宅生活を助ける用具や機器の展示や、相談・研修などができる複合施設を設置する考えはないか。

答弁①(2) 既存の在宅支援センターで展示をしているし相談の対応もしているので、新設する考えはない。

質問② 安全な居場所づくりで、放課後子供教室推進事業を展開していただいているが、安全なスペース作りだけでない、子ども達が、成長する為に活動できる場所づくりをする考えはないか。

答弁② 安全な居場所づくりを目指し、ボランティアの方々の力で、子ども達の学びの場を提供している。また、ボランティアの人材確保に努め、事業を推進し、子どもの成長のフォローを考えている。



すずか倶楽部 南条 雄士 議員

- ①新学習指導要領について
- ②中央道路の渋滞対策について

質問① 学習指導要領が改正され、平成24年度から中学校体育において武道が必修となるが、1武道場の整備、2積極的な指導者の確保、3武道の伝統文化面を重視した指導内容の充実について問う。

答弁① 1移転する中学校には武道場の設置を予定している。武道場が無い学校では体育館を武道場と心得るよう指導する。2県教委への要望を続けるとともに、外部指導者など地域との連携を検討し、教員研修の充実を図る。3武道の学習を通して、『心技体』の調和の

とれた人間形成がなされるように支援する。

質問② 中央道路の渋滞を避ける車が地域の生活道路を抜け道に使うため、周辺住民の生活の安全が脅かされている。1新道整備や新橋架設等、抜本的な渋滞対策と、2クランク・ハンプ・狭窄等、抜け道防止策について問う。

答弁② 1全市的な交通量調査を行い、幹線道路配置計画の見直しを検討する。新道整備や新橋架設についても、必要性を含めて検討する。2公安委員会と協議の上、地元住民の理解と協力が得られれば、抜け道防止策を多面的に検討し、安全対策を試行していきたいと考えている。



新政会 佐久間浩治 議員

公用車について

質問 昨年度まで鈴鹿農業協同組合より賃借していた公用車駐車を返却したが、その面積、駐車台数、賃借料についてはどうなっていたのか。また、今年度の公用車駐車場についての確保はどうなっているのか。公用車集中管理により台数削減はできているのか。

答弁 平成12年度より209台分の駐車場として、旧ディアナ跡地を賃借することとなり、借地面積は、4,825.89㎡で、賃借料は平成12年度より8年間の合計で、1億

1,250万円でした。今年度公用車駐車場としては、閉鎖していた旧分館第二南駐車場など合計134台分を確保し、運用している。公用車の集中管理については昨年度より、本庁における公用車管理体制を、従来の全職員対象とした集中管理車両と、各部内職員対象の部内集中管理車両、各課専用業務管理車両の3分類に区分し、更に鈴鹿市行政情報ネットワークシステムによる公用車予約入力画面を活用し、時間単位での効率的な運用を図った。今後も、運行稼働率の向上に努めるとともに、公用車更新についても、一層の条件整備を行い、更なる公用車台数の削減に努めたい。



議会の動き (議長・副議長の公務等)

4月

- 4日 議会基本条例特別委員会
- 9日 各派
- 11日 全国自治体議会議会改革推進シンポジウム(関係議員)
- 14日 文教福祉委員会、生活産業委員会、全国自治会連合会常任理事会(議長)
- 15日 鈴鹿市茶業組合通常総会(議長)
- 16日 全協、各派、政調、広報、地震防災特別委員会、議会基本条例特別委員会、鈴鹿商工会議所青年部総会(議長)
- 18日 東庄内地区浄化センター竣工式(議長、生活産業委員長)
- 日中友好促進三重県市議会議員連盟役員会(副議長、関係議員)
- 22日 建設水道委員会、椿地区浄化センター竣工式(議長、生活産業委員長)
- 23日 議運、各派
- 24日 東海市議会議長会理事会及び定期総会(正副議長)
- 25日 総務委員会
- 26日 椿小学校体育館の完成を祝う会(議長、関係議員)

5月

- 8日 各派、議運
- 9日 鈴鹿市民生委員児童委員協議会連合会大会(議長)
- 10日 鈴鹿市身体障害者福祉協会定期総会(議長)
- 13日 議員懇談会、各派
- 14日 議員懇談会、各派
- 15日 本会議、議運、各派
- 16日 本会議、議運、各派、予算決算委員会、総務委員会、文教福祉委員会、生活産業委員会、建設水道委員会、地震防災特別委員会、全協、議会改革特別委員会、政調、広報
- 18日 鈴鹿市芸術文化協会総会(議長)
- 19日 三重県市議会議長会定期総会(正副議長)
- 21日 生活産業委員会
- 22日 文教福祉委員会
- 暴力追放鈴鹿市民会議(理事会)(議長)
- 23日 日中友好促進三重県市議会議員連盟総会(正副議長、関係議員)
- 鈴鹿市シルバー人材センター総会(議長、生活産業委員長)

5月

- 24日 鈴鹿市青少年育成市民会議総会(議長)
鈴鹿地区交通安全協会総会(議長)
- 26日 各派、議運、総務委員会、建設水道委員会
鈴鹿市交通安全都市推進協議会常任委員会(議長)
- 27日 北勢公設地方卸売市場組合臨時議会(関係議員)
鈴鹿市自治会連合会定期総会(議長)
- 28日 全国市議会議長会定期総会(議長)
- 29日 鈴鹿市文化振興事業団理事会(副議長)
三酒鈴亀農業共済事務組合議会全員協議会及び臨時会(関係議員)
鈴鹿地域職業訓練協会通常総会(副議長)
- 30日 鈴鹿市清掃協同組合総会(議長)

6月

- 2日 本会議、議運、鈴鹿市観光協会総会(議長)
- 3日 鈴鹿地区防犯協会理事会及び定期総会(議長)
- 8日 新名神高速道路三重・滋賀建設促進県民協議会大会及び総会(議長)
- 9日～11日 本会議
- 12日 本会議、議運、各派
- 13日 本会議、各派
- 16日 文教福祉委員会、建設水道委員会
- 18日 総務委員会、生活産業委員会
- 21日 鈴鹿農業協同組合総代会(議長)
- 23日 議運、各派、鈴鹿商工会議所議員懇談会(議長、生活産業委員長)
- 24日 本会議、政調、広報
- 30日 鈴鹿亀山地区広域連合議会臨時会(関係議員)

議決一覧表 (6月定例会)

議案番号	件名	議決内容	
議案第 40号	専決処分の承認について	原案可決	全会一致
議案第 41号	鈴鹿市手数料条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 42号	鈴鹿市税条例の一部改正について	原案可決	賛成多数
議案第 43号	鈴鹿市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 44号	鈴鹿市学校給食共同調理室設置条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 45号	鈴鹿市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 46号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第 47号	鈴鹿市土地開発公社定款の一部変更について	原案可決	全会一致
議案第 48号	鈴鹿市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
発議案第 7号	民法第772条の嫡出推定に関する運用の見直しを求める意見書	原案可決	全会一致

請願番号	件名	議決内容	
請願第 2号	後期高齢者医療制度の廃止を求める請願書	不採択	賛成少数
請願第 3号	民法772条の嫡出推定に関する運用の見直しを求める意見書の提出を求める請願書	採択	全会一致
請願第 4号	長寿医療制度(後期高齢者医療制度)の運用面の改善を求める意見書の提出を求める請願書	継続審査	
請願第 5号	自主的な共済制度を新保険業法の適用除外とする意見書を国に提出を求める請願書	継続審査	

9月の会議日程

1日(月)10:00 本会議(開会)(本会議終了後 議会運営委員会)	19日(金)10:00 常任委員会〔総務・生活産業・分科会〕
8日～11日(月～木) 10:00 本会議(一般質問)	22日(月)10:00 常任委員会〔総務・生活産業・分科会〕
12日(金)10:00 議会運営委員会	25日(木)10:00 予算決算委員会
16日(火)10:00 本会議(質疑)(本会議終了後 予算決算委員会)	29日(月)10:00 議会運営委員会
17日(水)10:00 常任委員会〔文教福祉・建設水道・分科会〕	30日(火)10:00 本会議(閉会)
18日(木)10:00 常任委員会〔文教福祉・建設水道・分科会〕	※日程は変更される場合があります。

会議録のお知らせ

一般質問や議案質疑など本会議の詳しい内容については、会議録が閲覧できますのでご覧ください。6月定例会の会議録は、9月中旬に市立図書館及び各地区市民センターなどに配布予定です。また、鈴鹿市議会ホームページに、会議録検索システムを掲載していますのでご覧ください。

傍聴のご案内

本会議や常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び全員協議会は傍聴できます。日程は市役所の掲示板と市議会のホームページに掲載します。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局へご確認ください。電話 382-7600

テレビ中継のお知らせ

本会議の一般質問を、CNSテレビ(アナログ20ch・デジタル702ch)で生放送します。放送時間は、午前10時(開会時間)から会議の終了までです。ぜひご覧ください。